



東中だより

夢を追い、自らを高めよ
— 学べ・磨け・輝け —

7月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和元年6月28日発行

感動への感謝 そして次へ 自らを鍛えよう

校長 石川 賢一

朝7時を過ぎたころから係生徒がグラウンドに姿を現し、「素晴らしい体育祭」への思いひとつに準備を進めスタートをした6月22日の本校第73回体育祭。残念ながら、降雨により中断し、25日に準備をし直し、残りの演技種目を実施しました。

堂々と胸を張り、素晴らしかった入場行進。力強さと若者の清々しさを感じた選手宣誓。思いがけない2日間の実施となった中、みなさんの一生懸命な表情や姿は、私たち観る者の心を揺さぶり、“感動”を与えてくれました。この日を迎えるまでに、いろいろな場面で、表には出ない様々な努力や協力・助け合いがあったことでしょう。それらを乗り越えた力が、みなさんを人として一回り大きくし、みなさんの「生きる力」になっています。

生徒のみなさん、素敵な姿をありがとう！素晴らしかった！！

また、朝早くから多くの保護者・地域の方々にご来校いただき、生徒たちにご声援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

大会や行事は、学校生活の中での節目となります。その目標に向かって、自分なりにまたはチームや仲間と、考え、助け合い、成功の道へ努力します。みなさんは、自分を、またチーム（部）をどれだけ鍛えていますか。「できないところ、できていないところへの挑戦」「未知の部分への挑戦」その挑戦への努力過程こそが『鍛える』ということです。そして、その努力過程には「痛み」を伴います。心にも身体にも、辛さや苦しさが自分に降りかかってきます。何度やってもうまくいかない、どうやってもうまくできない。そんな思いが精神的なプレッシャーとなって自分を責めてきます。時に、悔しくひとりで涙を流すこともあるでしょう。それでも、逃げず、「痛み」を抱えながら前へ進んでください。これから、日々激動と言われる社会に出て、自分を大切に、しっかりと生きて行くためには、この『鍛える』過程での経験・努力が、間違いなく君たちの宝物となり、人としての成長につながる力となっていきます。結果はいろいろでしょう。努力したから、痛みにも負けず頑張ったから、すべて良く出るということはありません。それでも、がんばらなければ成功はありません。

大きな大会や行事が終わり、新たな「次の目標」に向かう今、みなさんそれぞれが、自分の姿勢、自分の努力はどうであるかと、自らの内面と向き合う大切な時であると思います。

近隣地域のみなさまへ

日頃から、学校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

6月22・25日の体育祭では、早朝より、マイク音・音響・声援などで、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。みなさまのご理解・ご協力により、生徒たちも精一杯の競技を終えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。